

職業実践専門課程の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名		所在地				
専門学校松江総合 ビジネスカレッジ		昭和61年7月31日	林 京子		〒690-0001 島根県松江市東朝日町74 (電話) 0852-26-8000				
設置者名		設立認可年月日	代表者名		所在地				
学校法人坪内学園		昭和44年11月8日	坪内 浩一		〒690-0001 島根県松江市東朝日町74 (電話) 0852-31-1500				
目的	動物を病気にさせない知識を学び、犬の健康身体検査が確実にできる動物看護師を育成する。								
分野	課程名		学科名		専門士		高度専門士		
商業実務	商業実務専門課程		動物学科 (動物看護師コース)		平成21年文部科学 省告示第22号		-		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技		
	2年		昼間	2344	805	345	1194	0	0
単位時間									
生徒総定員		生徒実員		専任教員数		兼任教員数		総教員数	
60人		11人		8人		2人		31人	
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日			成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 定期試験の点数と平常点で評価				
長期休み	■学年始:4月1日～4月10日 ■夏季:7月23日～8月22日 ■冬季:12月23日～1月9日 ■学年末:3月17日～3月31日			卒業・進級条件	卒業条件:1700時間以上出席、62単位以上取得、卒業基準検定合格、学納金 進級条件:900時間以上出席、34単位以上取得、進級基準検定合格、学納金				
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 担任と保護者との連携			課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動に参加 ■サークル活動: 有				
就職等の状況	■主な就職先、業界等 動物病院、動物関連施設 100 % ■卒業者に占める就職者の割合※2 : 100 % ■その他 (平成 27 年度卒業者に関する 平成28年5月1日 時点の情報)			主な資格・検定等	動物看護師検定 トリマー検定 愛玩動物飼養管理士 動物看護師統一認定試験 Microsoft Office Specialist ビジネス能力検定(B検)ジョブパス				
中途退学の現状	■中途退学者 1名 平成27年4月1日 在学者 13名 (平成27年4月1日 入学者を含む) 平成28年3月31日 在学者 12名 (平成28年3月31日 卒業者を含む)		■中退率 7.6 %						
	■中途退学の主な理由 就職のため								
	■中退防止のための取組 欠席が無断で3日続いた場合は、保護者に連絡をして、必要な場合は面談を行う。 学生に声掛けすることを積極的に取り組む。								
ホームページ	http://bijisen.ac.jp/								

※1「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」の定義による。

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したもとする。

②「就職率」における「就職者」とは、正規の職員(1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいう。

③「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

(「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。)

※2「学校基本調査」の定義による。

全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。)

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

企業等と密接かつ組織的な連携体制を確保して、授業科目等の教育課程を編成・改善する。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
萬代 幸次	FP有限責任事業組合 代表理事
古田 卓也	有限会社古田保険センター 日本代協認定保険代理士
森脇 建二	一般社団法人島根県経営者協会 専務理事
瀬戸口 彩	医療法人ぐんじ歯科医院 受付事務
堀 浩太郎	一般社団法人松江市医師会 医療法人堀内科胃腸科医院 院長
松浦 良二	一般社団法人島根県歯科医師会 医療法人松浦歯科医院 院長
大田 忠司	イオンリテール株式会社中四国カンパニー 保安担当部長 (元島根県警察学校校長)
來間 靖	防衛省自衛隊島根地方協力本部 松江募集案内所長
武藤 裕人	松江市健康福祉部子育て課 主任主事
吉川 寛樹	公益社団法人島根県獣医師会 常務
花田 実智則	ドッグハウス・ケン・ケン 代表
今岡 克己	一般社団法人島根県情報産業協会 株式会社ワコムアイティ取締役 会長
西坪 由起	株式会社ファブリックアーツ 代表取締役
持田 朝子	一般社団法人島根県情報産業協会 株式会社システム工房エム 代表取締

(開催日時)

第1回 平成27年 7月 1日 15:10~16:30

第2回 平成27年12月 2日 14:35~15:55

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

企業等との連携により現場で必要とされる実践的な技術・知識を習得し即戦力となる人物を育成する。

科 目 名	科 目 概 要	連 携 企 業 等
企業体験実習	獣医師の補助としての基本的な処置法や手術助手としての内容を学び、技能を習得する。	たかもり動物病院、シートン動物病院、斐川動物医療センター、あるば動物病院、アスリー動物病院 他

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教員が現在就いている職または将来就くことが予想される職の職務と責任の遂行に必要な知識、技能等を習得させ、その他その遂行に必要な能力、資質等を向上させることを目的としていること、また、教員は授業に支障のない限り自主研修を行うことができること、及び職務の遂行に必要な知識、技能等を習得するために実施される各種研修の受講を命じられた場合は、これを受講しなければならないこと等を規程に定めて、学内での研修は全員に、県内外にて実施される研修(プレゼンテーション、事業計画、財務管理等)に参加し、その研修において現場で発生している問題点、モラルなどを学び、その知識を学生の授業に活用し、学生の実践力を強化する。

また、実践的な技術・知識習得のため企業等へ派遣し実習を行うとともに、職能団体等が定期的開催する研修等に参加し教員の指導力向上を図る。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成27年4月1日現在

名 前	所 属
今岡 克己	一般社団法人島根県情報産業協会 株式会社ワコムアイティ 取締役会長
大田 忠司	イオンリテール株式会社 中四国カンパニー 保安担当部長
吉川 寛樹	公益社団法人島根県獣医師会 常務
木村 和夫	松江商工会議所 専務理事
小島 克己	学校法人坪内学園 専門学校松江総合ビジネスカレッジ PTA 会長
瀬戸口 彩	医療法人ぐんじ歯科医院 受付事務
永島 一雄	学校法人永島学園 理事長
萬代 幸次	FP有限事業責任組合 代表理事
堀 浩太郎	一般社団法人松江市医師会 医療法人堀内科胃腸科医院 院長
松浦 良二	一般社団法人島根県歯科医師会 医療法人松浦歯科医院 院長
武藤 裕人	松江市健康福祉部子育て課 主任主事
持田 幸治	幸陽建設株式会社 代表取締役
持田 朝子	一般社団法人島根県情報産業協会 株式会社システム工房エム 代表取締役
森脇 建二	一般社団法人島根県経営者協会 専務理事

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL:<http://bijisen.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL:<http://bijisen.ac.jp/>

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 動物学科 動物看護師コース) 平成27年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
○			生態学Ⅰ	動物の体の構造、機能について学ぶ。	1前	76	4	○			○	○			
○			健康管理学Ⅰ	健康管理、疾病予防を中心に学び、衛生管理法や感染予防法を習得する。	1前	38	2	○			○	○			
○			管理基礎学Ⅰ	基礎栄養素の基本知識を学び特別療法食の理解を深める。	1前	57	3	○			○	○			
○			衛生関連法規Ⅰ	公衆衛生の基本理念、人獣共通感染症、環境保全を学ぶ。	1前	38	2	○			○	○			
○			愛玩動物管理学Ⅰ	犬、猫、小動物の生態を学び、ショップで就業するための知識を習得する。	1前	19	1	○			○	○			
○			訓練学Ⅰ	基本的な訓練学を学び、犬の習性を理解し初歩のしつけ法を習得する。	1 通 年	20	1	○			○	○			
○			ドッグトレーニング実習Ⅰ	訓練学で学んだ訓練法を活かし、実技実習を中心に基本的なしつけ法を実践する。	1 通 年	20					○	○	○		
○			動物看護実習Ⅰ	犬猫の基本的保定法や身体検査法など診療現場に必要な基本的技術を習得する。	1前	76	2				○	○	○		
○			動物看護学Ⅰ	動物看護倫理、業務指針を学び動物看護実践能力を習得する。	1前	19	1	○			○	○			
○			飼育管理Ⅰ	飼育犬の飼育を通じ犬の習性や消毒、掃除方法、飼育法を学び、健全な飼育の技術を習得する。	1前	38	2				○	○	○		
○			グルーミング実習Ⅰ	各犬種の美容技術を、実技実習を中心に習得する。	1前	76	2				○	○	○		○

○		愛犬美容学Ⅰ	プードルを中心にトリミング技法を学ぶとともに美容用語を習得する。犬の美容学全般を理解し美容実習に役立てる。	1前	19	1	○			○	○		
○		情報実習Ⅰ	パソコンの知識を学び、文書作成の方法などの実務実践力を習得する。	1通年	40	1				○	○		○
○		看護実習・実践Ⅰ	診療現場で必要な観察力、基本的技術を身に着ける。	1通年	80	2				○	○		○
○		就職実践Ⅰ	エンプロイアビリティ（専門能力・コミュニケーション能力・人間関係構築能力）の基礎を身につける。	1前	29	1	○	△		○		○	○
○		動物愛護実習Ⅰ	動物愛護施設での実習を中心に、動物愛護について理解を深め動物愛護精神の育成を図る。	1通年	60	2				○		○	○
○		生態学Ⅱ	動物の体の構造、機能や病理的特徴について学ぶ。	1後	84	5	○				○		○
○		健康管理学Ⅱ	健康管理、疾病予防を中心に学び、衛生管理法や感染予防法を習得する。	1後	63	4	○				○		○
○		管理基礎学Ⅱ	管理栄養素の基本知識やエキゾチックアニマルの生態、適正飼育法や疾病について学ぶ。	1後	42	2	○				○		○
○		衛生関連法規Ⅱ	獣医医療現場、動物関連法規について学び理解を深める。	1後	21	1	○				○		○
○		愛玩動物管理学Ⅱ	犬、猫、小動物の生態を学び、ショップで就業するための知識を習得する。	1後	32	2	○				○		○
○		動物看護実習Ⅱ	検体検査の主な種類と検査目的、意義を学び理解を深める。	1後	63	3					○	○	○
○		動物看護学Ⅱ	動物医療現場で直面する生命倫理について学び共生のための基本的理念を理解する。	1後	21	1	○				○		○
○		飼育管理Ⅱ	飼育犬の飼育を通じ犬の習性や消毒、掃除方法、飼育法を学び、健全な飼育の技術を習得する。	1後	42	2					○	○	○
○		トリミング実習Ⅰ	各犬種の美容技術を、実技実習を中心に習得する。	1後	84	2					○	○	○

○		就職実践Ⅱ	エンプロイアビリティ（専門能力・コミュニケーション能力・人間関係構築能力）の基礎を身につける。	1後	42	1	○	△		○	○	○	○
○		動物薬理学Ⅰ	薬の特性を理解し、薬剤の正しい取扱いを学ぶ。	2前	19	1	○			○		○	
○		動物看護学Ⅲ	各疾病の特徴、個体に応じた看護法を学ぶ。	2前	57	3	○			○		○	
○		看護実習臨床Ⅰ	獣医師の補助としての基本的な処置法や手術助手としての内容を学び技能を習得する	2前	133	4				○	○		○
○		飼育管理Ⅲ	飼育犬の飼育を通じ犬の習性や消毒、掃除方法、飼育法を学び、健全な飼育の技術を習得する。	2前	38	1				○	○		○
○		動物看護実習Ⅲ	検体検査の主な種類と検査目的、意義を学び理解を深める。	2前	57	3				○	○		○
○		疾病学Ⅰ	犬猫の主な疾患の症状、検査、治療法について学ぶ。	2前	76	5	○			○		○	
○		総合臨床実習Ⅰ	診療現場での臨床経験を主にインターンシップより積み、実践的な看護技術を身につける。	2通年	160	5			○			○	○
○		トリミング実習Ⅱ	各犬種美容技術を、実技実習を中心に習得する。	2前	76	2				○	○		○
○		情報実習Ⅱ	パソコンの知識を学び、文書作成の方法などの実務実践力を習得する。	2通年	34	1				○	○		○
○		就職実践Ⅲ	エンプロイアビリティ（専門能力・コミュニケーション能力・人間関係構築能力）の基礎を身につける。	2前	38	1	○	△		○		○	○
○		動物薬理学Ⅱ	薬の特性を理解し、薬剤の正しい取扱いを学ぶ。	2後	15	1	○			○		○	
○		動物看護学Ⅳ	各疾病の特徴、個体に応じた看護法を学ぶ。	2後	45	3	○			○		○	
○		看護実習臨床Ⅱ	獣医師の補助としての基本的な処置法や手術助手としての内容を学び技能を習得する	2後	90	3				○	○		○

○		外科動物看護 実習Ⅰ	基本的な外科手術の流れを理解し、手術準備、麻酔モニタリング、手術助手、周術期の動物管理法を習得する。	2 後	90	3			○	○		○		
○		飼育管理Ⅳ	飼育犬の飼育を通じ犬の習性や消毒、掃除方法、飼育法を学び、健全な飼育の技術を習得する。	2 後	30	1			○	○		○		
○		動物看護実習 Ⅳ	検体検査の主な種類と検査目的、意義を学び理解を深める。	2 後	30	2			○	○		○		
○		疾病学Ⅱ	犬猫の主な疾患の症状、検査、治療法について学ぶ。	2 後	60	4	○			○		○		
○		看護実習・実 践Ⅱ	診療現場に必要な観察力、基本的技術を身に着ける。	2 通 年	68	2	○			○		○		
○		就職実践Ⅳ	エンプロイアビリティ（専門能力・コミュニケーション能力・人間関係構築能力）の基礎を身につける。	2 後	30	1	○	△		○		○	○	○
合計					45	科目	2	3	4	4	単位時間(9	6	単位)

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業条件：1700時間以上出席、62単位以上取得、卒業基準検定合格、学納金		1学年の学期区分	2期
進級条件：900時間以上出席、34単位以上取得、進級基準検定合格、学納金		1学期の授業期間	22週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。